



KOBELCO

2005年度 業績見通しについて

2005年9月9日



株式会社 **神戸製鋼所**

KOBELCO
◆ KOBELCO STEEL, LTD.

報告事項

1. 2005年度業績見通しについて
2. 質疑応答



1. 2005年度業績見通し について



2005年度 上期業績見通し

(単位:億円)

	前回	今回	差異
売上高	7,800	7,900	100
営業利益	850	1,010	160
経常利益	600	750	150
特別損益	120	180	60
当期利益	280	280	0



上期)特別損益内訳

(単位:億円)

	前回	今回	差異
不動産事業分割関連損失	120	140	20
災害損失	-	40	40
合計	120	180	60

- ・不動産事業分割関連損失

05年8月公表の土地公示価格が昨年度より下落。
分割対象土地簿価800億円程度。平均下落率19%。

- ・災害損失

修繕費、廃却損、その他コストアップ



2005年度 業績見通し

(単位:億円)

	前回	今回	差異
売上高	16,300	16,400	100
営業利益	1,900	2,060	160
経常利益	1,400	1,550	150
特別損益	120	180	60
当期利益	750	750	0



セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2005年度 前回見通し		2005年度 今回見通し		差異 -
	上期	年度	上期	年度	
鉄鋼関連事業	530	1,150	650	1,270	120
電力卸供給関連事業	100	190	100	190	0
アルミ・銅関連事業	100	200	110	210	10
機械関連事業	20	100	30	110	10
建設機械関連事業	20	55	30	65	10
不動産関連事業	10	30	10	30	0
電子材料その他	55	140	75	160	20
消去	15	35	5	25	10
合計	850	1,900	1,010	2,060	160



セグメントの概況 【鉄鋼】

(単位:億円)

	2005年度 前回見通し		2005年度 今回見通し		差異
	上期	年度	上期	年度	
売上高	3,700	7,700	3,700	7,700	0
営業利益	530	1,150	650	1,270	120

- ・自動車、造船など製造業向け需要は引き続き好調。
- ・汎用品の国際市況は軟化。
- ・輸出HOT・線材を中心に上期10万トンの減産。
10～12月は減産体制を継続。
- ・原料価格の上昇分は、販売価格に転嫁完了。



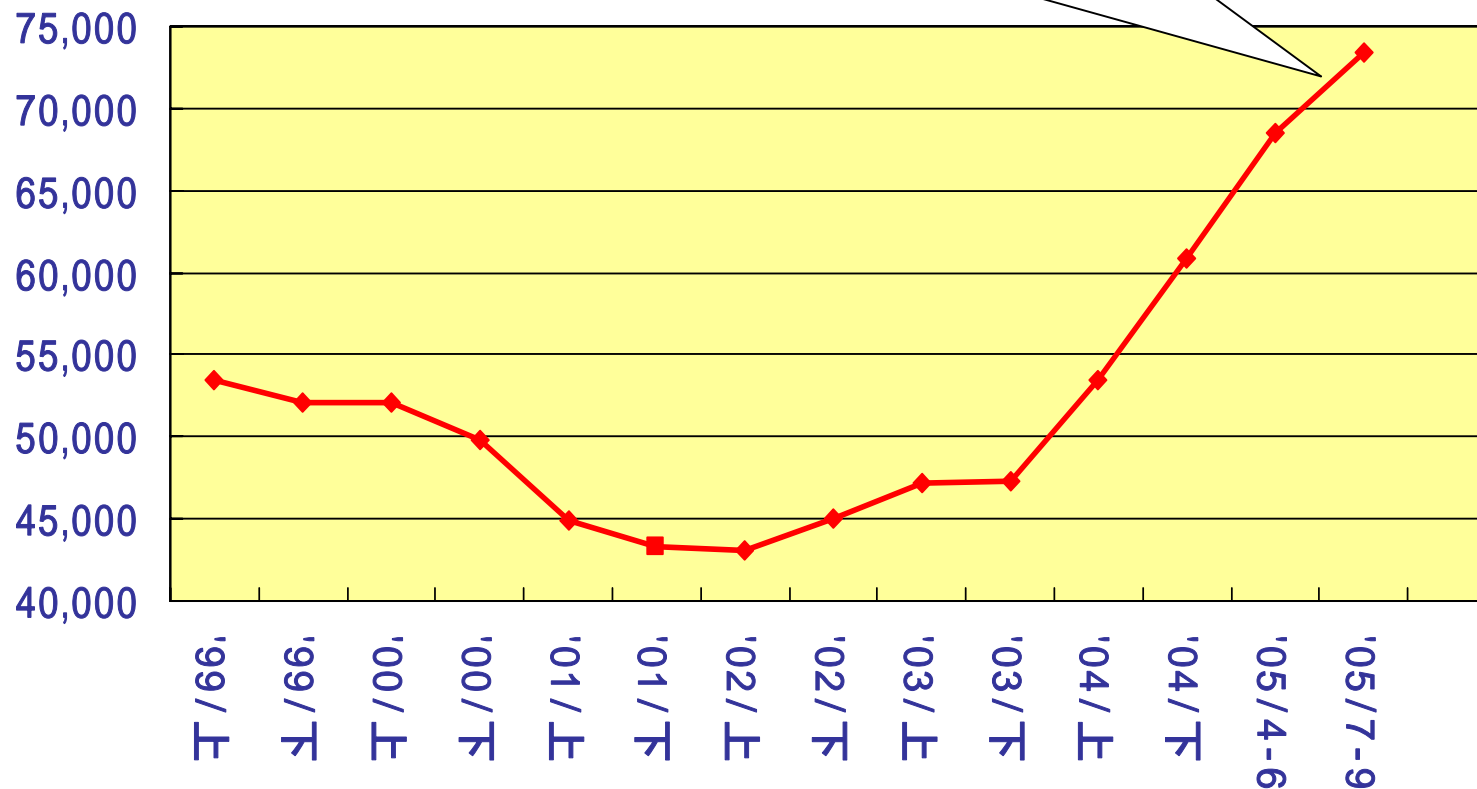
当社の生産・販売状況

	2004年度			2005年度
	上期	下期	年度	見通し 上期
全国粗鋼 (万 t)	5,638	5,651	11,290	5,736
全国在庫水準 (万 t)	539	526	-	7月末 559
国内自動車生産台数(万台)	513	549	1,062	521
< 当社 >				
粗鋼生産 (万 t)	380	391	771	387
鋼材販売量 (万 t)	324	343	667	337
(内 国内)	(243)	(258)	(501)	(265)
(内 輸出)	(81)	(85)	(166)	(72)
鋼材販売単価 (円/ t)	53,500	60,900	57,300	70,900
鋼材輸出比率(金額 [^] - _ス)	26.9%	27.0%	27.0%	24.4%

鋼材単価の推移

対 04下比 + 10,000円/t
 (04下平均60,900円/t
 05上平均70,900円/t)

(単位:円/t)





セグメントの概況 【電力卸供給】

(単位:億円)

	2005年度 前回見通し		2005年度 今回見通し		差異
	上期	年度	上期	年度	
売上高	320	660	320	660	0
営業利益	100	190	100	190	0

・概ね順調に操業継続中。



セグメントの概況 【アルミ・銅】

(単位:億円)

	2005年度 前回見通し		2005年度 今回見通し		差異
	上期	年度	上期	年度	
売上高	1,500	2,900	1,500	2,900	0
営業利益	100	200	110	210	10

- ・アルミ圧延品の需要は、自動車向け・ディスク材以外低調。軽圧各社とも輸出を削減。
- ・銅圧延品の需要は、自動車用端子材が引続き堅調。半導体向けも調整局面を脱出。
- ・下期に原油価格の高騰によるコストアップ不安。



需要動向と当社販売状況

摘 要	' 0 4 年度実績		' 0 5 年度見通し	
	上 期	年 度	上 期	年 度
軽圧品需要(千トン)	1,242	2,441	1,192	2,377
アルミ板	723	1,399	685	1,352
アルミ押出	519	1,042	507	1,025
内 缶材(千トン)	245	439	240	434
伸銅品需要(千トン)	337	656	326	644
板 条	238	468	234	468
銅 管	99	188	92	176
エアコン内需(万台)		696		680

< 当社の販売状況 >

アルミ圧延品国内(千トン)	150	278	149	281
輸出(千トン)	41	78	26	54
銅板条(千トン)	31	62	31	63
銅管(千トン)	49	90	43	81



セグメントの概況 【機械】

(単位:億円)

	2005年度 前回見通し		2005年度 今回見通し		差異
	上期	年度	上期	年度	
売上高	1,100	2,600	1,150	2,650	50
営業利益	20	100	30	110	10
受注高	-	2,150	1,136	進捗率 52.8%	

ハード : 樹脂機械、エネルギー用途の大型圧縮機、
 エンジニアリング : LNG機器やリアクター等の受注が好調。

新鉄源 : Itmk 3 は、パートナーと商業機建設で合意。詳細設計に着手。

環境 : 概ね計画通り進捗。

受注状況

(単位:億円)

	2004年度	2005年度見通し		
	実績	年度計画	上期見通し	進捗率 /
機 械(ハード)	870	780	476	61.0%
環 境	660	630	303	48.1%
エンジニアリング	1,231	740	357	48.2%
合 計	2,761	2,150	1,136	52.8%

- ・2004年度は、ガス・ス直接還元製鉄プラント7件-600億円を受注。
- ・2005年度の進捗率は、環境・製鉄を除くと67%。



セグメントの概況 【建設機械】

(単位:億円)

	2005年度 前回見通し		2005年度 今回見通し		差異
	上期	年度	上期	年度	
売上高	1,000	2,000	1,050	2,050	50
営業利益	20	55	30	65	10

- ・国内需要は、民間設備投資の伸び等により拡大。
- ・海外需要は、欧米・東南アジアで拡大基調が継続。中国も底打ち。
- ・鋼材等資材価格の上昇に対応すべく、販売価格改善に注力。



需要動向

【ショベル需要】

(単位:台)

	04年度実績		05年度見通し		05年度 見通し 前回
	上期	年度	上期	年度	
国内	12,515	25,520	13,271	26,664	25,320
中国	20,428	25,639	14,844	25,000	20,000



セグメントの概況 【電子材料その他】

(単位:億円)

	2005年度 前回見通し		2005年度 今回見通し		差異
	上期	年度	上期	年度	
売上高	240	540	240	540	0
営業利益	55	140	75	160	20

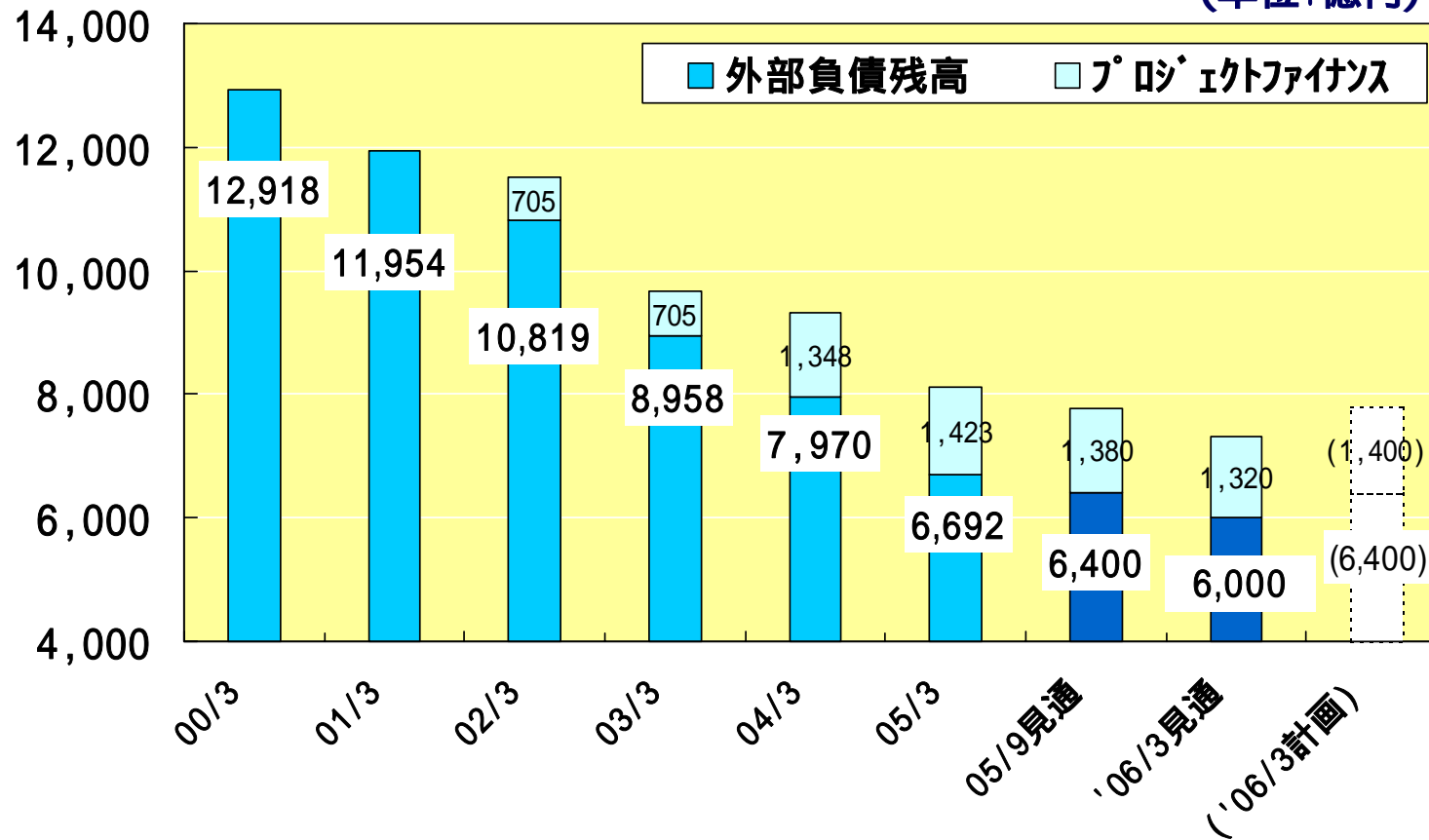
・液晶パネル配線膜用ターゲット材の需要が順調に伸長。



ECOWAY

外部負債残高

(単位: 億円)



2005年度D/Eレシオ 上期末 : 1.7倍 年度末 : 1.4倍



ECOWAY

KOBELCO

ご参考



KOBELCO

< 2005年度上期業績見通し >



上期)セグメント別売上高

(単位:億円)

	2004年度 上期実績	2005年度上期見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼関連事業	2,940	3,700	3,700	0
電力卸供給関連事業	274	320	320	0
アルミ・銅関連事業	1,459	1,500	1,500	0
機械関連事業	919	1,100	1,150	50
建設機械関連事業	1,065	1,000	1,050	50
不動産関連事業	169	150	150	0
電子材料その他	252	240	240	0
消去	234	210	210	0
合 計	6,847	7,800	7,900	100



上期)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2004年度 上期実績	2005年度上期見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼関連事業	349	530	650	120
電力卸供給関連事業	96	100	100	0
アルミ・銅関連事業	84	100	110	10
機械関連事業	2	20	30	10
建設機械関連事業	44	20	30	10
不動産関連事業	16	10	10	0
電子材料その他	64	55	75	20
消去	15	15	5	10
合計	673	850	1,010	160



全社経常利益差異内訳(1)

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	750	800	1,550

+41

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+295	原料価格	245
総コスト削減 (変動費+45、固定費 15)	+ 30	連結子会社・持分法	40
高炉等廃却・解体	+ 10	その他	9
合計	+ 335	合計	294

鉄鋼)営業利益差異内訳(1)

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	650	620	1,270
		└── +81 ──┘				

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+310	原料価格	245
総コスト削減 (変動費+35、固定費 10)	+ 25	その他	9
合計	+ 335	合計	254



KOBELCO

<2005年度業績見通し>



'05年度)セグメント別売上高

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		差異
		前回	今回	
鉄鋼関連事業	6,313	7,700	7,700	0
電力卸供給関連事業	586	660	660	0
アルミ・銅関連事業	2,829	2,900	2,900	0
機械関連事業	2,268	2,600	2,650	50
建設機械関連事業	2,066	2,000	2,050	50
不動産関連事業	324	450	450	0
電子材料その他	540	540	540	0
消去	491	550	550	0
合 計	14,437	16,300	16,400	100



05年度)セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼関連事業	918	1,150	1,270	120
電力卸供給関連事業	194	190	190	0
アルミ・銅関連事業	169	200	210	10
機械関連事業	103	100	110	10
建設機械関連事業	72	55	65	10
不動産関連事業	30	30	30	0
電子材料その他	140	140	160	20
消去	36	35	25	10
合計	1,665	1,900	2,060	160

全社経常利益差異内訳(3)

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1160	750	800	1,550

└ +50 ─┘

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 60	原料価格	120
高炉等廃却・解体	+ 15		
連結子会社・持分法	+ 55		
その他	+ 40		
合計	+ 170	合計	120



鉄鋼)営業利益差異内訳(3)

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	650	620	1,270

└
30
┘

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 50	原料価格	120
その他	+ 40		
合計	+ 90	合計	120

全社経常利益差異内訳(4)

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	750	800	1,550
						+390

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+1,025	原料価格	670
総コスト削減 (変動費+95、固定費 10)	+85	増産対応・設備保全	40
高炉等廃却・解体	+10	その他	55
連結子会社・持分法	+35		
合計	+ 1,155	合計	765



鉄鋼)営業利益差異内訳(4)

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度見通		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	650	620	1,270

+352

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+1,000	原料価格	670
総コスト削減 (変動費+75、固定費 30)	+ 45	増産対応・設備保全	40
為替影響	+ 10		
その他	+ 7		
合計	+ 1,062	合計	710



全社経常利益差異内訳(5)

(単位:億円)

	2005年度前回			2005年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
経常利益	600	800	1,400	750	800	1,550

+150

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+105	増産対応・設備保全	10
原料価格	+ 30	その他	30
連結子会社・持分法	+ 55		
合計	+ 1 9 0	合計	4 0



鉄鋼)営業利益差異内訳(5)

(単位:億円)

	2005年度前回			2005年度今回		
	上期	下期	計	上期	下期	計
営業利益	530	620	1,150	650	620	1,270
				+120		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+100	設備保全費用	10
原料価格	+ 30		
合計	+ 1 3 0	合計	1 0



設備投資の状況

(単位：億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 今回見通	03-05 累計	2005年度 前回見通
設備投資計上(IPP除く)	488	650	870	2,008	870
対減価償却費	67%	96%	127%	96%	127%
" (IPP)	561	10	0	571	0
" (IPP含む)	1,049	660	870	2,579	870
(中期計画)	(980)	(450)	(450)	(1,880)	(450)
減価償却費(IPP除く)	732	677	685	2,094	685
" (IPP)	60	125	125	310	125
" (IPP含む)	792	802	810	2,404	810



中期経営計画の進捗状況

(単位:億円)

	中期計画		03年度 実績	04年度 実績	05年度 見通し
	03年度	05年度			
売上高	11,900	12,500	12,191	14,437	16,400
経常利益	430	800	507	1,160	1,550
ROA	3.7%	6%	4.0%	7.4%	9.1%
外部負債残高 (含むプロファイ)	8,290 (9,650)	6,400 (7,800)	7,970 (9,318)	6,692 (8,115)	6,000 (7,320)
D / Eレシオ	2.7倍	1.7倍	2.5倍	1.8倍	1.4倍
特長ある差別化 商品比率	33%	40%	33%	38%	40%



中期経営計画の進捗状況

(単位:億円)

	03年度 実績	04年度 実績	05年度 見通し	中期計画 05年度
【経常利益】				
鉄鋼	320	780	1,130	500
アルミ・銅	50	95	120	80
機械	50	145	130	120
その他	87	140	170	100
合計	507	1,160	1,550	800
【ROA】				
鉄鋼	4.8%	10.1%	13.0%	7%
アルミ・銅	4.2%	5.9%	6.6%	5%
機械	1.6%	4.0%	3.6%	4%
合計	4.0%	7.4%	9.1%	6%



ECOWAY

KOBELCO

単独業績について



上期)2005年度 見通し<単独>

(単位:億円)

	2004年度 上期実績	2005年度上期見通し		
		前回	今回	差異
				-
売上高	4,268	5,150	5,150	0
営業利益	404	620	720	100
経常利益	255	420	520	100
特別損益	59	120	190	70
当期利益	115	170	170	0

上期)部門別売上高<単独>

(単位:億円)

	2004年度 上期実績	2005年度上期見通し		差異
		前回	今回	
鉄鋼・溶接	2,525	3,200	3,200	0
アルミ・銅	1,108	1,150	1,150	0
機 械	635	800	800	0
合 計	4,268	5,150	5,150	0

上期)部門別営業利益<単独>

(単位:億円)

	2004年度 上期実績	2005年度上期見通し		差異
		前回	今回	
				-
鉄鋼・溶接	322	510	600	90
アルミ・銅	63	80	80	0
機 械	19	30	40	10
合 計	404	620	720	100

2005年度 見通し<単独>

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		
		前回	今回	差異
売上高	8,997	10,400	10,400	0
営業利益	1,057	1,300	1,400	100
経常利益	678	900	1,000	100
特別損益	167	120	190	70
当期利益	310	450	450	0

2005年度 部門別売上高<単独>

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼・溶接	5,431	6,600	6,600	0
アルミ・銅	2,161	2,200	2,200	0
機 械	1,404	1,600	1,600	0
合 計	8,997	10,400	10,400	0

2005年度 部門別営業利益<単独>

(単位:億円)

	2004年度 実績	2005年度見通し		
		前回	今回	差異
鉄鋼・溶接	841	1,080	1,170	90
アルミ・銅	132	160	160	0
機 械	83	60	70	10
合 計	1,057	1,300	1,400	100

将来見通しに関する注意事項

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいません。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - 為替相場の変動
 - 原材料の Availability や市況
 - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
 - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化